



ブエノスアイレスのクラブコレスポンデント Pandi Liquidadores から、以下のような報告がありました。

アルゼンチン税関の捜査担当官が上船し、アルゼンチンで入港の際に提出した船用品目録と、捜査担当官による調査結果とが一致しなかった場合、税関職員が罰金およびその支払いを要求するという問題が発生する可能性があります。このような問題が起こったのは、入港の際に何を申告し、何を申告しなくていいのかに関して、統一した申請書がなかったことが主な原因でした。これにより、罰金の支払いや汚職が頻繁に起こりました。

このような問題が起こらなくなるよう、申請書の作成ため尽力がなされ、今回、アルゼンチン税関当局は、アルゼンチン全港に入港する際、船舶が提示すべき船用品目録に関する新しい申請書を承認する、包括決議 4317 を発表しました。これは、2018年10月10日発行の「Customs Official Bulletin」で発表された日から、有効です。今回の新しい決議が主に基づいているのは、Law Nr. 20.050. のもとアルゼンチンも含まれる FAL 条約 (1965年国際海運簡素化条約) です。

添付されている申請書のコピーは以下の通りです。

- ANEXO I (Art. 1°) NORMAS GENERALES PARA LA DECLARACION DE RANCHO Y PACOTILLA DE BUQUES CRUCERO Y DE CARGA
- ANEXO I (ART 1°) … 無料翻訳
- FORM OM 1645 船用品目録
- FORM OM 1646 船用品デッキ
- FORM OM 1647 エンジン
- FORM OM 1648 乗組員携帯品申告書

これらの申請書は、[こちらのリンク](#)上の、必要な申請書の番号(1645/1646/1647/1648)が示されている税関ウェブサイトからも入手することができます。

これらの申請書により、入港時に申告すべき項目に関して統一性が得られるようになります。例えば、これまで問題となっていたグラブなど、船舶のスペアパーツや構成部品などは、ここでは言及されていません。ただし、他のオイルについて言及されている Form OM 1646 (船用品デッキ)などのように、明確ではない項目もあります。そのため、この項目がサンプリング・タンクにあるオイルを意味するのかは、はっきりしません

今は、申告すべきもの、申告する必要のないものについて、この新しい申請書がさらにはっきりさせるのを待つしかありませんが、以下のことを推奨します。

1. 船長は、チーフオフィサーとチーフエンジニアとともに、「船用品」に申告する項目を慎重に記録および確認する
2. チーフエンジニアは、エンジンの申請書に関連して申告する数量を慎重に確認し、当面の間は、サンプリング・タンクと補機関内のオイルも追加する
3. すべてに記入および確認済みであると船長が確信するまでは、船用品目録に署名しない

4. 税関に提示し署名された船用品目録のコピーを、船内に保存する
5. 罰金が課せられるのを防ぐため、船長は、「現金支払い」に関する税関との話し合いに関与しない
6. アルゼンチン税関の捜査担当者が上船している間、疑問／問題があった場合は、P&Iのコレスポンデントに至急連絡をする

最後に、近年、新政府が政権を得て以来、サン・ニコラス港で主に発生した問題の多くが、大幅に減少したことに触れさせていただきます。

本回覧文書に関して、不明な点、または詳しい情報をご希望する場合、クラブまたは地元のコレスポンデント Pandi Liquidadores までいつでもご連絡ください。